

さぼせん通信

寝屋川地区保護司会
更生保護サポートセンター
☎：072-813-5722



心のスイーツ

今月のことば

生



金文1



金文2



篆文1

象形。草の生える形。草が発芽し、成長する（そだつ）ことから、人が「うまれる、そだつ、いきる、いのち」の意味となり、また人以外の動植物などについてもいいます。

「生まれたまま、なま」の意味にも用いる。

金文にみえる「百生」は百姓（多くの民）の意味で、生を早くから「たみ、ひと」の意味に用いていました。

金文にはまた「いのち」の意味にも用いています。

国語では「はやす。いける。き」とよみ、

ひげを生やす、花を生ける。生糸などといいます。

白川 静著
「常用字解」より

金文は主として「青銅器」に鑄込まれた古代文字のことを言います。一応秦までを考えますが、殷・西周・東周が金文の時代と考えられます。青銅器の用途はもちろん実用に耐えるものですが、最初から祭器でした。

お知らせ

- ◇ 10月28日（土）管外研修会 「近江路を訪ねる」（見て・知って・学ぶ） 参加24名でした。
- ◇ 11月1日（水）更生保護大会が大阪狭山市の SAYAKA ホールにて開催されました。
東森保護司の法務大臣表彰をはじめ、寝屋川地区からは17名が表彰されました。
- ◇ 11月28・29日（火・水）一泊研修会で『愛知少年院』を訪問します。
- ◇ サポセンの面談室を利用してください！ ※対象者等との面談は時間外でも使用出来ます。
担当している処遇活動について、その他の相談（対象者の就労支援等）にもサポートセンターを是非ご利用ください！
※各種報告用書類・封筒は、市民活動振興室およびサポートセンターに常備しています。
- ◇ 手作り交流会 処遇活動への情報交換・意見交換をしながらスラリ一人形作りをしています。
12月は11日（月）です。問い合わせ先：（サポートセンター☎813-5722）



手から手へ

つなぐ思いやり

